

# AIを用いて規格外野菜と加工技術をマッチングするサービス

## 目 概要

規格外野菜の加工方法をAIによって提案してもらうことで農家と加工業者のマッチングを推進する。

農家の人はAIに提案してもらうことで自分が栽培している野菜がどのように加工できるのかを知ることができ、どのような人とつながるべきなのか方向性を知ることができる。

冷凍、発酵、乾燥、その他再利用方法の加工技術を持つ企業は今まで気が付かなかったような技術の使い道を知ることができ、新たなビジネスチャンスとすることができる。

## 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

農林水産省が公開している「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢（令和5年6月時点）」によると売れ残りや規格外野菜などの廃棄量は270万トンとなっている。

そのことから、規格外野菜と加工技術が結びついているというのはまだまだ限定的で、多くの農家は規格外野菜を捨てるしかないという状況がうかがえる。

また、規格外野菜を利用したい企業から農家に声をかける形ばかりで、農家の人が規格外野菜を利用したい企業を待つしかない。

## 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

農家はAIによってどのように利用できるのかという方向性を知ること、加工業者に対して利用していただけないか、と能動的に働きかけることができる。

農家と加工業者の双方向から互いにマッチングを図ることができ、規格外野菜のロスの削減につなげることができる。

## 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

農家の規格外野菜と欲しい人をマッチングするサービスとしてúnicaが存在する。

## 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

既存サービスでは農家がサービスを通して出品し、欲しい人がそれを購入できるというサービスになっている。

それに対し、このアイデアでは加工業者(欲しい人)だけでなく、農家はAIによる提案を受けてどのような加工が可能なのか・適しているのかを知ることができるため、農家側から加工業者への提案もできる。

よって、双方向からの働きかけを可能とすることでよりマッチングがしやすくなる。

また、提案を受けた加工業者も自身が持つ技術を他にどのように応用できるのかを知ることができ、ビジネスアイデアを得ることができる。

## 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

以下の機能によってサービスを実現する。

- 農家・加工業者・一般消費者共通機能
  - 農家情報確認(一覧表示・検索・詳細表示)
  - 規格外野菜情報確認(一覧表示・検索・詳細表示)
  - 規格外野菜購入
  - 加工業者情報確認(一覧表示・検索・詳細表示)
- 農家用機能
  - 農家情報登録
  - 規格外野菜情報登録
  - AIによる規格外野菜の加工方法の提案(加工・料理後のイメージも生成)
  - 加工業者との会話(チャット・通話など)
- 加工業者用機能
  - 加工業者情報登録(保持する技術など)
  - 農家との会話(チャット・通話など)

## 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

AIによる規格外野菜の加工方法の提案を行うためにチューニングを行う必要がある。  
必要に応じて専門家などを招いて解決する。

## 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

開発に400万。

## 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

- 廃棄されていた規格外野菜が無駄なく有効活用され、食品ロスが大幅に削減される。
- 農家の収益が向上し、農業離れを防ぐ助けになる。
- 規格外野菜を利用した新しい商品が市場に出てくるようになり、新しい味覚を楽しむことができ食の多様性が広がる。
- 規格外野菜がもたらす「使えない」「売れない」といったネガティブなイメージが払拭されて価値あるものとする意識が社会に広まる。